

氏名	三原 康 生		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第 5 0 3 号		
学位授与の日付	昭和47年 6 月30日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項該当)		
学位論文題目	自然弁による三尖弁置換の研究		
論文審査委員	教授 田中早苗	教授 中山 沃	教授 児玉俊夫

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

人工弁のもつ欠点を取除くために、自然弁、特に異種弁（豚）利用による三尖弁置換の研究を行なった。

新鮮および2%ホルマリン緩衝剤加 PH5.6 液内、6週間以上保存（以下、2%ホルマリン処理と略す）した豚大動脈弁につき、沈降反応、特に Ouchterlony 法による移植抗体の検出を行なった結果、新鮮弁は家兎への異種抗原性をもつが、2%ホルマリン処理を施すことにより、その抗原性を失うことを確認すると共に消毒、保存の両面をも満足させ得ることがわかった。この処理弁を支柱付補強リングで被覆することにより、手術手技が容易となり、操作も確実となった。

実験的に11例の犬に常温下完全体外循環下に、支柱付補強2%ホルマリン処理豚大動脈弁による三尖弁口への置換術を行ない、4例の長期生存を得、術後の血行動態は満足すべきものであった。

これらを基に、2例のエプシュタイン病患者に対して、支柱付補強2%ホルマリン処理豚大動脈弁置換術を施行し、2.5年以上を経た現在、いずれも満足すべき術後経過をたどっている。

支柱付補強2%ホルマリン処理豚大動脈弁による三尖弁置換は、その目的を充分達成出来たと思う。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は自然弁による三尖弁置換の研究である。房室弁膜疾患に対する外科的侵襲については従来未解決の点が多かったが、本研究は、ホルマリン処理の自然弁と、支柱付補強リングを用いることにより、三尖弁置換を成功させたすぐれた研究として価値ある業績である。

よって、本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。